

令和2年度第2回保健福祉審議会高齢者部会 会議録（概要）

日 時 令和2年11月25日（水）午後2時～午後3時  
 場 所 四街道市文化センター301 会議室  
 出席委員 許斐部会長、長澤委員、田中委員、吉井委員、谷口委員、秋元委員  
 事務局 齋藤福祉サービス部長、大塚福祉サービス部副参事、只野高齢者支援課長、三好高齢者支援課長補佐、茨城高齢者支援課主幹、齋藤高齢者福祉係長、坂本包括ケア係長、吉原賦課給付係主任主事  
 コンサルティング業者 株式会社サーベイリサーチセンター 1人  
 傍聴人数 2人

―― 会議次第 ―――

- 1 開 会
- 2 福祉サービス部長挨拶
- 3 議 題
  - ① 高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画第8期計画（素案）について  
 【資料1-1、1-2、1-3、資料2、参考資料】
  - ② その他
- 4 閉 会

―― 議事概要 ―――

<b>1. 開会</b> （事務局がマスク着用、換気、席の間隔、仕切り板、マイク不使用、時間短縮等について言及）	
<b>2. 福祉サービス部長挨拶</b>	
齋藤福祉サービス部長	今回は、第8期計画策定に向けて行った市民へのアンケート調査、関係団体や委員の意見や課題を整理した結果を素案という形で示す。令和3年から5年の3年間で市として取り組む課題や施策、また今後3年間の保険料や施設整備計画も含まれている。今回、各委員からの意見を踏まえて、最終案として取りまとめていきたい。
<b>3. 議題</b>	
<b>○議題1 ①高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画第8期計画（素案）について</b>	
許斐部会長	（傍聴人を入室させる）議題①について事務局より説明をお願いする。
只野高齢者支援課長	（資料1-1, 2, 3について説明、国の基本指針、市の重点施策等）
長澤委員	具体的な施策の内容は後で説明があるのか。在宅医療に関心があり、入院できないような場合に訪問診療や訪問看護などがすぐに利用できるのか。今後地域でどのような医療連携を進めていくのか。

事務局	後ほど素案の中の各施策で説明する。
許斐部会長	議題②について事務局より説明をお願いします。
只野高齢者支援課長	(資料2について説明、新規・拡充事業や第5部中心)
長澤委員	P64、①関係機関の連携強化で、「在宅医療・介護連携支援センター」に連絡できないような場合は、ケアマネやかかりつけ医が動いてくれるのか、具体的なことが知りたい。
坂本高齢者支援課係長	センターは市民から直接相談を受ける場というよりも、主に介護事業所や医療機関との連携強化を行う。市民はかかりつけ医やケアマネを通して相談してほしい。P64②在宅医療・介護連携に関する普及啓発事業の一環として、先日、市民公開講座を開催し、訪問診療でできることなどをお伝えした。
長澤委員	市政だより等で広報しても状態の悪い高齢者などはそういった情報を把握できない。地域の民生委員に把握してもらうのがよいと思う。
許斐部会長	福祉関係の知識がある人はそれでよいが、字が書けない人やあまり外に出ないような人にまで公平に知ってもらうにはどうしたらよいか、利用するにはどうしたらよいかという質問であり、従事者の目線ではなく、身近な民生委員にもっと地域に密着してもらい、情報共有して、相談できるようにという趣旨だと思う。
齋藤福祉サービス部長	地域の身近な相談相手は民生委員。民生委員は地域の高齢者のことをよく把握している。その中で気づいたことや変化を市に報告し、つないでいく役割があるので、市としても引き続き支援や連携強化を行っていく。地域の方々には、民生委員とつながりを持っていただきたいが、最近、民生委員のアプローチを受け入れてくれない方が増えており、苦勞している。大規模災害への備えという意味でも結びつきをより強化しなければならない。
田中委員	高齢者が元気で生き生きと生活するためには、地域で参加する場所があるといい。参加者も参加費を払って共通の時間を作るのだが、運営側も参加側も高齢者なので、継続していくためには行政のバックアップ、助成金が必要。特に介護予防と認知症関連にはバックアップが必要不可欠。そういった取組が最終的には医療費の抑制にもつながるのではないかと考えている。
只野高齢者支援課長	担当と検討する。
長澤委員	資料1-2(1)「健康の維持・増進と介護予防の推進」で、若い世代への健診の必要性の意識づけが必要とあるが、若い世代は非正規も多く、企業では受けられないし、予定が立たない人も多く、どう健診を受けてもらうのか心配している。ある町では健診の案内の張り紙があつたりするが、四街道では受けにく

	くなっている。手続きなどの煩わしさをなくし、受けやすくできないか。
許斐部会長	高齢者部会の内容ではないので、そのような窓口があればお話しいただきたい。
許斐部会長	新型コロナウイルスの感染者が増える中で、感染症予防のためにやっていることが果たしてベストなのか。四街道市で何かあった場合、個人情報まででなくとも情報を提供してほしい。デイサービス等への受け入れの際にも情報が必要。ワクチン入手までにはまだ時間がかかると思うので、感染者は出したくない。
齋藤福祉サービス部長	施設内で感染者が出た場合は、県の基準により公表する。集団感染した例では施設名を開示した。個人や家庭内の場合には年齢等しか開示できない。
許斐部会長	訪問看護などは職務上、訪問しなければならないし、そのような場合、個人であっても事業所名程度でも知らせてもらおうと改善策もあるのではないか。
齋藤福祉サービス部長	市と保健所で情報共有し、その時々で必要な支援や対応を行っていく。
許斐部会長	四街道市ではクラスターを出したくないので、協力をお願いしたい。 素案について、修正部分がある場合は、事務局に検討していただき、計画に反映できる部分は次回の最終案でお示し頂きたい。
<b>議題2 その他</b>	
事務局	次回は1月13日（水）14時から行う予定。 議題は、庁内での最終調整を踏まえた第8期計画の最終案を審議していただく予定。
<b>4. 閉会</b>	
許斐部会長	以上で部会を終了する。